



あかるいまち 21

ラベンダー一班誕生

11月7日、鍼灸師でありアロマセラピー認定者でもある福田さんを中心に5人が集まり、ハンドセラピーをしました。「ラベンダー班」の名前は、今日集まったメンバーで決めました。「血行が悪い」「骨粗鬆症」「心筋梗塞をした」「よく骨折する」「消化が悪くなった」など、今の健康状態を出し合い、福田さんからアドバイスをもらいます。セラピーでは、「気持ちいい」の声の連続でした。「ここは肩



こり、腰痛のつぼ」「肩がすっきりした感じ」「手がすべすべ」なども。ローテーションでお互いにセラピーをし合うのも楽しそうでした。

アロマの後はお茶を飲みながら、おしゃべり。ここでも健康や老後のこと、そして地域のことを話し合いました。新しい参加者には、保健生協のことをしっかり伝えてパンフを渡しました。12月も第1金曜日に関きます。



海田町役場と地域支援事業について懇談

11月7日、海田町役場に介護保険予防給付が地域支援事業に移行されるにあたり、訪問を行いました。

県生協連の代表としての参加で当生協からは盛谷専務理事と介護事業部長の飯星さん。そして、安芸中央支部からは海田町で暮らしている運営委員の藤田さん、森金さん、支部長の岡田さんが訪問に参加されました。

海田町役場からは、福祉保健部長寿保険課の佐々木仁さん、福祉保健部長寿保険課の介護保険係長田村明美さんが懇談に参加されました。

介護保険予防給付が地域支援事業に移行していくが、海田町ではいつの時期に移行予定なのか？また、地域住民のボランティアの養成はどのように対応していくのか？また、今まで受けられていたサービスが受けられなくなり生活に困ることが無いように住民の立場に立ったサービスをお願いしますと県生協連、中央保健生協よりお願いをしました。

県生協連の取り組みや広島中央保健生協の紹介、安芸中央支部での活動内容のも行いました。地域で開かれたサロンを開催する場合には、海田町からの補助は出るのでしょうか？といった内容についても懇談しました。まだまだ、海田町も移行の準備の前準備段階といった様子でこれからどうなるのか？バタバタと大変な状況の中でお時間を頂きました。海田町が移行する際には、4町の合同会議を経てからこれからの行く末を決めていくようです。

みんなが困らない制度になるよう働きかけていきましょう！

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合